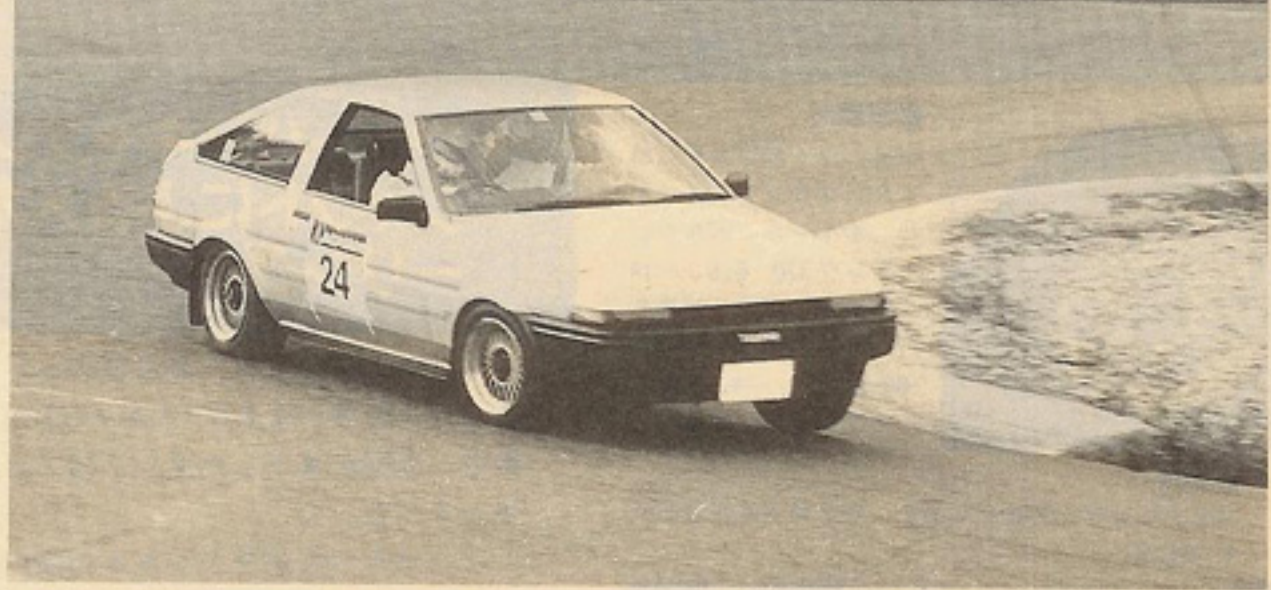




マシ ン 診 断

チューニングカーを斬る!!



よる低・中速のトルクのやせはカバーされている。

ウェーバーキャブレターは気圧の低いワインディングのセッティングで、中山サーキットに持ち込まれたため、ミクスチャーのミスマッチをやや感じた。これはジェット等の交換により、セッティングを煮詰めることが可能であろう。

排気系はフジツボ50.8φマフラーに交換され、適度の排圧を確保しつつ、効率良く排ガスを放出している。強いて言えばEXマニまで交換した方が好ましいであろう。

伝達系はハイパワー化されたエンジンのセオリー通り、クラッチ&カバーに強化タイプ。そして、ピックアップ向上のため、クロモリフライホイールと万全のセッティングだ。

2T-Gのボアアップを施した1750ccフルチューンに比べて、このチューンド4A-Gは4バルブ化による吸・排気効率向上のパワーアップと軽量コンパクト化によるピックアップの良さが感じられた。ピ?

★ハイパワー化に見合ったサスペンションのセッティングが望まれる★

サスペンションはノーマルコイルスプリングにポテンザのショックを組み合わせている。ショックのみの

交換のため、高速コーナーではパワーに足がついてこず、多大なロールを発生するため、ドライバーに恐怖